



夢と希望を胸に大人への仲間入り 第1回南島原市成人式

1月4日(休)、南島原市として初めての新春行事である「第1回南島原市成人式」がありえコレジヨホールで開催され、大人としての自覚と責任を誓い合いながら、社会人としての新たなスタートを切りました。

今回の対象者は、昭和61年4月2日から昭和62年4月1日までに南島原市(旧8町)で生まれた821人が対象となり、今回はその約8割に当たる668名が参加しました。

一口メモ 全国的にみると…

新成人は過去 最低の1%

2007年1月1日現在で20歳になった新成人は約139万人(男性約72万人、女性約67万人)。総人口に占める割合は1.09%で、1966年の丙午(ひのえうま)生まれが成人した87年と、昨年の1.12%を下回って過去最低。20歳が100人に1人しかいない計算。

総務省の人口推計によると、今年の新成人の数は前年より4万人減少し、87年の約136万人に次いで過去2番目に少ない。

過去の新成人の数は、団塊の世代とされる第1次ベビーブーム期の49年生まれが成人した70年が約246万人で最多。第2次ベビーブーム期の73年生まれが成人した97年の約207万人以降、ほぼ一貫して減少が続いている。

加津佐町



口之津町



▲新成人にエールを送る松島市長

式典は国歌斉唱の後、成人証書が松島市長から、成人者代表の森永玲央さん(有家町山川)へ手渡されました。松島市長は「輝かしき2007年の幕あけとともに、晴れやかに成人を迎えられた皆様に心からお慶び申し上げます。新成人としてスタートされる皆様に大きなエールを送ります。若い力でこの南島原市を発展させて欲しいと心から願っています」とお祝いし激励しました。また「一人一人がこれから社会に参画される訳ですが、ぜひ自分の頭で考え、行動する自立した市民になっただけでなく、周囲を思いやり、と南島原市の未来を担う新成人の皆さんに期待を込めた言葉も送りました。」



▲新成人を代表して決意を述べる谷口 隆さん

それに対し、新成人を代表して、「二十歳の誓い」と題し、まず谷口 隆さん(北有馬町丁)が「私たちは今、大人としての新たなスタートラインに立ち、一斉に旅立とうとしています。これから自分の意思で決め、意見を主張しながら、これまでお世話になった皆様のご恩と、今日の感激を忘れることなく生きていきます」と力強く述べました。



▲新成人を代表して決意を述べる永石 彩さん

次に永石彩さん(深江町丙)が「最近の若い年代は、選挙権を放棄し、勤労や納税の義務などを忘れていきます。決して3大義務を忘れず、人に頼られるよう、多くの人に目くぼり、気づけりができるようになりたい」として「誰にでもやさしく、笑顔を絶やさず、感謝の気持ちを忘れない大人になりたい」と固く誓いました。私たち大人にとっても大切にしていきたい、とてもすてきな言葉ですね。



▲南島原市となって最初の成人式で成人証書を受ける森永 玲央さん

【各町の成人者数】	
加津佐町	132名
口之津町	77名
南有馬町	72名
北有馬町	64名
西有家町	127名
有家町	140名
布津町	80名
深江町	129名
南島原市合計821名	